

第22回 淑徳大学社会福祉研究所企画

# 健やかに生きる ～病い、老いとともに～

人は、どんなに健康であっても、いつかは死ぬという運命を背負って生きています。

「病い」を抱えると、いつもとは違った難しい心境に陥ることがあります。病気の苦痛だけでなく、これまでの生き方に疑問を抱き、これからどのように生きれば良いのかと戸惑ったり、治療の方針を選択しなければならなくなったりすることもあるでしょう。また、自らの「老い」にうすうす気づくとき、そのことから目を背け打ち消そうとするかもしれません。そのため、周囲のちょっとした言動に敏感になり傷つきやすくなったりすることもあります。

思うに任せない事態に遭遇したとき、人は、どのような心理的な反応をするのでしょうか。それをどのようにして理解したら良いのでしょうか。そして、病者として、老人として、家族や友人として、あるいは、支援者として、自分も相手も健やかに生きるには、どのような心の在り方、寄り添い方、支え方があるのでしょうか。

講演では、自分自身の想いや感情への気づき方、相手に寄り添う話しの聴き方、言葉にならない心の交流、具体的な支援の仕方などについて、ちょっとだけ体験学習も交えて、心理臨床的な角度からお話をさせていただきます。



きむら と き こ  
木村 登紀子

聖路加国際大学名誉教授  
いちかわ野の花心理臨床研究所 所長  
桜クリニック(臨床心理士)  
千葉県健康福祉部健康づくり支援課(嘱託・相談員)  
臨床心理士 博士(文学)

<プロフィール>

1964年 東北大学文学部(心理学)卒業

1966年 東北大学大学院文学研究科修士課程(心理学専攻)修了

2005年 東北大学より博士(文学)

2001年～2011年 淑徳大学総合福祉学部実践心理学科教授

2012年～2018年 淑徳大学大学院附属心理臨床センター(相談指導員・研究員)

<著書>

つながりあう「いのち」の心理臨床—患者と家族の理解とケアのために 新曜社(2009)

医療・看護の心理学—病者と家族の理解とケア 川島書店(1999) など

日時／平成30年7月7日(土)  
14:00～15:30 (開場/13:30)

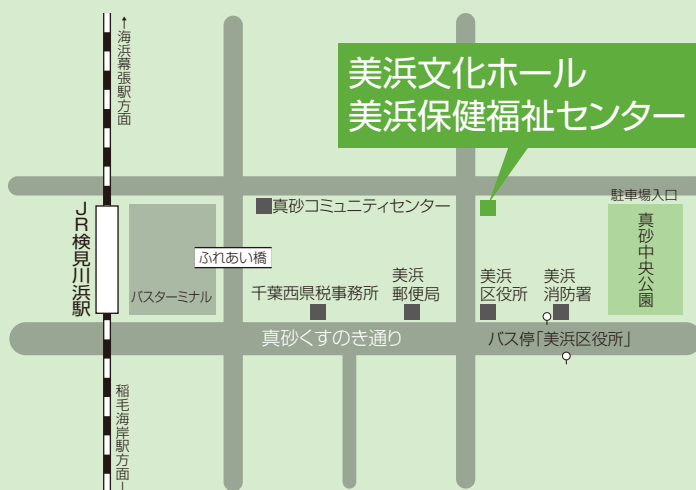
場所／千葉市美浜文化ホール  
2階メインホール  
JR京葉線「検見川浜駅」徒歩8分  
JR総武線「新検見川駅」バス10分  
※新検見川駅南口バスロータリー4番乗場  
3つ目の停留所「美浜区役所」下車、徒歩2分  
電話／043-270-5619

定員／350名(応募者多数の場合抽選となります。)

後援／千葉市

<お申込み方法>

はがきに代表者の住所・氏名・電話番号・参加希望人数  
(1枚で2名まで申込み可)を明記して、  
郵送してください。(6月15日(金)必着)  
締切後、入場券を発送いたします。(入場無料)



お申込み  
お問合せ先

淑徳大学社会福祉研究所／総合福祉研究室  
〒260-8701 千葉市中央区大蔵寺町200  
電話／043-265-7377(直通)  
火・木・金曜 9:00～17:00  
(お電話でのお申し込みは受付ておりません。)